



2006年1月1日

# セカンドハンド通信 NO.43

NPO法人セカンドハンド 本部事務局 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18  
TEL&FAX 087-861-9928 発行責任者・新田恭子  
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://www.eskimo.com/~2nd-hand/



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

## カンボジアの高校生が来日！

ブノンペン市郊外のスラムに住む4名。学生部「小指会」が建設支援した中学を卒業し、小指会からの奨学金を受けて高校に通っている生徒です。香川県内の6校の高校で交流しました！

この事業の概要については2ページをご覧ください。



英語の授業に参加。  
なぜ日本の女性は髪が短い？  
日本の学校には学食がある..など  
違いから発見がいっぱい。



フルーツバスケットでの交流会。  
罰ゲームでカンボジアの歌を  
楽しそうに歌うグー。



約300名の生徒の前で、日本語での  
プレゼンテーション、クメール  
ダンスを披露。雪の降る日、  
カンボジアの半そでの民族衣装を  
着て頑張りました！



日本人の女の子は  
男の子より積極的！  
たくさん話しかけて  
くれました。



クラスマッチの見学。  
バレーボールの応援、  
盛り上がりました！



お茶や太鼓などを体験！  
日本の文化にも触れました。

彼らが通う高校建設にご協力！小指会を中心に募金活動を行っています。

## 新しい倉庫が決まりました！

昨年11月末、無料でお借りしていた倉庫から南バイパス沿いの倉庫に引っ越しました！月々の家賃は発生しますが、仕方ありません。今後は倉庫でも定期的にイベントを開催し、家賃分のカバーだけでなく、支援金が増えるよう努力するつもりです。作業や店番で協力して下さるボランティアスタッフを募集しています。駐車スペースも充分にあります！



高松市田村町201-1 11号線沿い

広い倉庫の掃除は  
大変...  
でも、頑張って  
磨き上げました！

## 品物提供について

しばらくご不便をおかけしましたが、1月14日の倉庫開きから店舗・倉庫での提供品の受け付けを再開します。

倉庫受付日：月・水・金（持ち込みは店舗へ）

倉庫で使う棚、折り畳みコンテナなど備品を探しています！ 詳しくはp.8 information

倉庫オープン記念  
チャリティーバザー開催！  
1/14(土)~16(月)



「人材育成基金」を  
募ります！

小指会のメンバーは  
じめ学生たちが各種セ  
ミナーやスタディーツ  
アーに参加できる機会  
を低額で提供できるよう、  
寄付金を募ります。ご  
賛同いただける方は、  
入金時の通信欄などに  
「人材育成」と書いてく  
ださい。



「セカンドハンド」は、皆様からいただいた品物を販売し、収益金すべてを援助にあてる国際協力団体です。主にカンボジアに教育支援、自立支援、医療支援などをおこなっています。チャリティーショップや支部は無償で働くボランティアスタッフが支えています。店舗や倉庫は無料または格安でお借りするなど、皆様のあらゆる協力の上で成り立っています。「一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力となる」セカンドハンドのモットーです。あなたも世界の誰かのために、ボランティアしてみませんか？

商品提供やご寄付など、支援して下さいた皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

# カンボジア&日本の学生交流事業概要

～ 香川県NPO提案型協働事業委託事業 ～

カンボジアの生徒受入を希望した県内6校  
(高松商業、高松東、高松第一、三木、善通寺西、飯山)で事業を行いました。

## 事前学習



セカンドハンドの出前講座。世界の現状や来日する学生について、講師の体験談など、日頃は元気な生徒たちも聞き入っていた。

## メール交換

まだ見ぬカンボジアの生徒に思いを馳せ質問、日本についてや自分たちの紹介。

## テレビ会議



一段と来日が待ち遠しくなった感動の面会！カンボジアとの距離が一気に縮まった。

## カンボジアの学生来日！

カンボジアの生徒が日本語でカンボジアについて紹介。学校で授業や部活など一日一緒に過ごし交流。

## 報告会「カンボジア&日本の学生シンポジウム」

交流した両国の生徒が感じたこと、交流しての気持ちの変化などについて発表。  
この事業に参加できなかった多くの方とも、体験を共有。

一つ一つの事業に予想以上に生徒たちの気持ちが動きました。「ご飯が食べられ、安心して眠れ、学校に行けることが幸せなことだと気付かされた」「もっと多くの国のことを知りたい」「困っている人たちのために何かしたい!」「国際協力の仕事はどうすればできますか?」という生徒たちに、やって良かったと担当スタッフ一同この事業の成果を実感しています。

\*報告書を作成中!完成したら販売予定です。  
ご予約は本部まで。(SOS会員には無料配布予定)

## セカンドハンドの現状

前回のアンケートで「なぜ提供者カードが必要なのか」「導入にどんなメリットがあるのか」など、“提供者カードの導入”について多くの質問と同時に「もし何か困っているのであれば、現状を教えて欲しい」という要望をいただきました。

そこで、なぜこのようなシステム導入を考えるに至ったのか、また今抱えている問題をご説明させていただきます。

まず最初に、提供される品物についてご説明しなければいけません。状態のいいものを整理して送って下さる方が多い中、ゴミの有料化と商品の買い取りをしてくれるリサイクルショップの普及に伴い、そういったところでも引き取ってもらえない品物、商品として店頭に出せない、つまり「ゴミ」になるものが増加しているのが現状です。

運営委員会では皆さんがより参加しやすい仕

組みづくりについて話し合っていますが、左のような状況の改善に加え、きちんとして下さっている方に対して例えば税金の控除ができる仕組みが作れないかと検討し、「寄付された商品を金額に換算して、寄付金として考える。税金控除のために年間を通しての領収書を発行するデータ管理に会員制を導入」というところに至りました。しかし、現時点での税金控除は不可能ということが判り、せめてゴミになるような品物を減らすことを目的とした“提供者カード”の導入を皆さんに諮った次第です。

結局、“提供者カード”では参加できる人が狭まるのではという内外の意見から、導入を見送り、品物に関しての改善策にはなりません、右ページの様な制度を取り入れることにしています。皆さんのご意見を聞かせて下さい。

《支援校12校舎目》

## サクリエム小学校完成！

雨期入りで完成が10月の新学年の開始に間に合いませんでしたが、待ちに待った新校舎に子ども達は大喜びで通っています。

ご協力くださいました皆様ありがとうございます。



新校舎で大好きな勉強に励む子どもたち



建設前、校庭には不発弾が。今は、安心して学校に通える。

## 医療施設、着工します！

ブノンペン市保健局が行っている保健医療プロジェクトに協力し、これまでヘルスルーム2棟、ヘルスセンター1棟の建設支援を実施しました。近年出産数の増加に伴い、出産、入院できる施設が早急に必要との要望があり、昨年1棟(10室)の入院施設を建設しました。

今年も同様の施設を国際空港近くのポチェントン・ヘルスセンター内に建設します。現在、月に約90名が出産していますが、小さな部屋にベッドが6台並んでいるだけ。乳幼児死亡率を低下させるためにも衛生的で、安心して出産できる施設が待望されています。

建設資金はまだ少し不足していますが、乾季の間に建設する必要があるため着工に踏み切りました。あとわずか...ご協力をお願いします。

運営サポーター制度

“SOS”を導入！

Second hand Official Supporter = 通称“SOS会員”

セカンドハンド オフィシャル サポーター

セカンドハンドの運営を支えて下さい！

「セカンドハンドを応援するための会員制度はないの？」

以前からそんなお問合せをいただいておりますが、ようやく制度導入の運びとなりました。SOS会員は、基本的にセカンドハンドの運営を支えるサポーターで、直接カンボジアへの支援を行うというよりも、支援を行うための拠点を整備するために寄付を募るといったものです。例えば、ボランティアが働く環境を整備したり、事務局経費として使わせていただくといったものです。

近年、全体の収入の内の“寄付”の割合が増えてきています。これは、セカンドハンドを信頼し、よりよい社会を創るために託して下さっている貴いお

SOS会費( のどちらか選べます )

	一年一括	定額自動送金(毎月)
一般	一口 10,000円	一口 2,000円以上
団体・企業	一口 20,000円	一口 3,000円以上

金と理解しています。できるだけ、直接支援先に届けられるよう、私たちも日々できる限りの努力をしていますが、コピー、プリンターのインク代、電気、水道、電話代と活動の幅が広がるにつれ、その費用も大きくなっているのが現状です。

運営資金が増えたら、よりよい活動を行うためにも事務局スタッフを増員したいと考えています。現在は2名の専任スタッフでがんばっています。この活動を広げていくために、皆様のご理解と、資金面でご協力をいただければ幸いです。

特典もあります

5月末までにお申し込みの方限定  
カンボジアと日本の学生交流事業の報告書を無料プレゼント！

3月中に発送予定

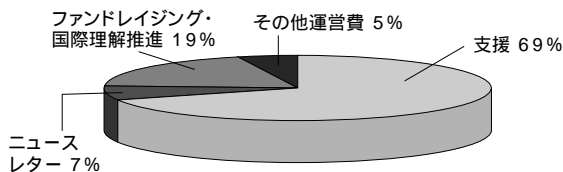
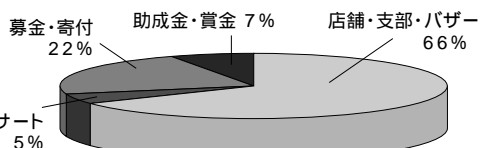
他にも スタディーツアー報告書 無料送付  
セカンドハンドの刊行物 2割引  
セカンドハンド主催イベント ご優待価格 など

## - 申込方法 -

の場合は、同封の振込用紙に「SOS会員」とご記入の上、お振込ください。詳細は本部までお問合せください。

## 【収入内訳】

## 【お金のゆくえ】



活動費は皆様からのご寄付、品物提供、そして、ボランティアスタッフによって支えられています。

2002～2004年度集計

☑ ニュースレターで地道に実りある活動を続けている様子が分かります。小さな力を集めれば、こんなに大きな仕事ができるのは嬉しいです。それぞれの心の中に積み重ねられていく宝物が、いっぱいあると思います。





石松、鴻池、市原(左から)

## カンボジア現地レポート4

# 山大医学生が見たカンボジア 3ヵ月間のカンボジア体験記

2005年9/12~12/12

## 問題を抱えるカンボジア

石松 高

今回、私はセカンドハンドを通じてカンボジアの家庭にホームステイをしながら、約2ヶ月間のボランティア活動を行った。その中で感じたことはカンボジアの人々の優しさ、明るさ、そして笑顔のすばらしさであった。特に、子供たちの笑顔は活き活きとしてとても素晴らしいものだった。そんな

将来は医師として海外へ：

笑顔に出会うためにこの国にやって来たのかもしれないと感じた。

しかし、この国はさまざまな問題を抱えている。一見発展は目ざましくも見えるが貧富の差は拡大するばかりで、国民の多くは貧困に喘ぐ人々である。私の滞在した、首都プノンベン郊外に広がるスラム街には、電気、下水道、道路なども未整備である。粗末な作りの家が多く、雨が降ると中まで水浸しになる家も少なくない。そして、知識不足のためにエイズや結核、性感染症などに感染する患者も多い。また、長らく続いた内戦により、学校や道路、市場など生活の拠点が破壊されただけでなく、虐殺による人材不足、そして家族や親を失った精神的な傷は現在も人々の心に深く刻み込まれている。実際に私がホームステイした家族でも親、兄弟が殺されていたり、体に障害を負わされた人がいた。さらに、ダム建設や異常気象などが人々の伝統的生活を破壊している。

このような問題のほとんどはカンボジアの貧しい経済に起因している。公務員の給料は安く、医師の給料でさえ月に30ドル程度であり、看護士や教師などはもちろんそれ以下である。そのためアルバイトをする医師や教師も多く、それにより本来の仕事に支障が生じ、患者や生徒がその犠牲になっている。



施設建設支援をする前まで使われていた結核患者の病棟と内部(右)



や奨学金制度、ヘルスセンター建設、職業訓練所の建設といった出産、成長、教育、就職といった一連の過程を支援している。また、他のNGOと協力して現地の人達で持続可能な援助を目指しており、実際にその成果を実感することもできた。特に、勉強することが何より好きなカンボジアの子供にとって学校建設、奨学金制度は本当に良い支援だと感じた。

今回、私の活動に關していえば「何もできなかった」の一言で片付いてしまうが、実際にカンボジアに来なければ経験できない多くのこと学んだ。医療施設を見学すること、エイズ患者や結核患者、スラムの住民と話をしたり、一緒に生活することは将来医師として働くうえで大きな経験となっただろうし、物の考え方も変化した。また将来、医師として海外にボランティア活動に行きたいという気持ちも確かなものになったことも大きかった。

セカンドハンド、マリノールをはじめとするNGOの方々、また現地でお世話になった多くの方々本当にありがとうございました。



スラムで暮らす家族

そのような中でセカンドハンドの果たしている役割は非常に大きい。学校建設

は非常に大きい。学校建設

は非常に大きい。学校建設

は非常に大きい。学校建設

は非常に大きい。学校建設

## 笑顔の国カンボジア。鴻池 喜彦



ホームランド孤児院の子ども達

カンボジアを訪れたのは、今回が初めて。どんな生活になるのかは想像がつかなかった。空港から出て初めて目の当たりにしたカンボジアは、3人くらい平気でまたがり、時には逆走もするバイクの群れだった。「なんておそろしい国なんだ」これが最初の感想だった。

この日から約1週間カンボジア各地のセカンドハンドの支援先を見学する旅が始まった。移動は主に車だったが、普通乗用車にドライバーを含めて6人で乗った。この国ではこれが普通である。

見学した施設は、職業訓練センターやホームランド孤児院、そしてスラム街や医療施設。これらで全体に感じたことは、苦しい生活環境の中でも人々が明るさや優しさを忘れていないということだった。彼らは初めて会う私たちにも笑顔で応えてくれ、しばしばこちらの気がひけるほどの気遣いを見せてくれた。

私が一番興味を持ったのは、医学生ということもあって、やはり医療施設だった。新しい施設が建てられる以前に使われていた結核患者の病棟は、日本では考えられないほど古く粗雑な造りで、剥き出しの地面の上に直接ベッドが置かれていた。これでは患者の身体的健康だけでなく、精神的健康も保たれないだろうと思った。見学していないどこかにはこのような施設はまだまだあるかもしれない。またこのように設備の整わない環境では、患者に加えて医療スタッフの健康も守られないと感じた。患者の健康を支える医療者は、病院内で働くため感染症の危険に大きく晒される。医療施設の整備は、来院する患者の利益にも直接つながるが、そこで働く医療者の健康を守ることさらに今後患者の利益にもつながるだろうと思う。

一週間の視察の後、私が滞在したのはバタンバン州にあるホームランド孤児院であった。そこには約60名の子供たちが暮らしていた。そこでもやはり私は明るい歓迎を受けた。子供たちはみんな学校に通っていて英語の勉強を始めている子もいるが、十分なコミュニケーションをとれるレベルには至っていない。

なので子供たちとのコミュニケーションをとるには、私がクメール語を覚えるしかなかった。ところがこのクメール語が、発音をするにも聞くにも日本人にはとても難しい。最初のうちは聞けど話せど、さっぱり伝わらなかった。毎日少しずつ勉強をして子供た

将来、良い医師になることで還元。

ちから発音を習うなかで、ようやく最後にはわずかながらのクメール語が話せるようになった。会話ができるようにっていくつれて子供たちと直接コミュニケーションをとれるようになるのはとても楽しく、それが原動力だった。

センターの一日は朝の体操から始まる。朝5時過ぎに起床し、体操をしたあと掃除をする。カンボジアの人はすぐにボイ捨てをするのだが、それはこのセンターでも変わらない。ビニール袋や紙くずなどがいろいろな所に落ちている。それらを掃除し終え、次は朝ごはんである。朝ごはんはほとんどご飯だけみたいなものだ。朝食後、ほとんどの子は学校へ(残りの少数は午後授業)。昼食はみんなセンターで食べ、その後は遊んだり、ダンスの練習をしたりとそれぞれに過している。そして夕食後はテレビをみんなで見る。駐輪場に電気をつなげてきて外で見るのだ。もちろん蚊にはたくさん刺される。そして、10時前に就寝。

センターでの普段の食事は、残念ながら十分なものではなかった。おかずは一品でそれも少量。煮た豚肉が一枚だけの時や魚と野菜(1種類)のスープだけの時などである。あとはご飯を大量に食べる。だが、この食事でカンボジアでは最も貧しい部類には属さない。きつと子供たちがセンターに来る以前に食べていた食事よりは良いものになっているだろう。子供たちは明らかに栄養が足りていないように見えた。9歳の女の子はまるで5歳の子ようだった。栄養が不足しているのはセンターの外でも同じである。カンボジアの人々が大人は年齢以上に老け、子供が年齢以上に幼く見えるのはそれが理由だろう。

また、私が問題視したのはカンボジアの人たちの衛生観念の低さだ。だが、これもこのセンターに限ったことではない。子供たちは外でしっかりと遊んだあと、そのまま手を洗わず食事をする。カンボジアの食事のスタイルでは、直接手で食べ物や口を運び、おかずは数人で一つのものをつつく。これでは感染症にもかかり易いだろうと思った。ただ、カンボジアの人はどうやら日本人よりも免疫力が強いようである。それは、日本のように清潔すぎない生活環境による部分もあるのかもしれないが、結核が大きな問題になっているこの国ではやはり衛生観念の向上と公衆衛生の増進は必要な課題だろう。

今回のカンボジア滞在中は、予想していた通り彼らの力になることはできなかった。それはわかってはいたのだが、やはりもどかしくて辛かった。けれど今回の滞在で私は多くのことを見聞きし、考える機会を得た。それは私にとってとても大切な経験である。それらを活かし、良い医師になることがこの度の経験を還元することになると信じている。



ホームランド孤児院。正面の建物右半分は、セカンドハンドが建設支援

## 「学ぶ」ことは、子どもたちの希望。市原 恒平

密集した今にも倒れそうな家々やその間を流れる緑色の溝、そこで遊ぶ裸の子供達。初めて訪ねた時、現実を目の当たりにした衝撃と、ここで生活していけるだろうかという強い不安を感じたのを覚えている。

私は、センソックと呼ばれるスラム街で約一ヶ月間生活する機会を得た。このセンソックは、2001年にプノンベン市内で起きた大火災の避難地として作られた新しい町だ。わずか数キロ四方の狭い区画の中には、一万余世帯を超える人々が住んでおり、人口過密と貧困が引き起こす様々な問題が露呈している。

中でもAIDSの問題は深刻だ。現在この町には、数百人のAIDS患者がいると言われているが、正確な数字は不明である。多くの場合彼らは、配偶者あるいは親を亡くしており、隣人の差別もあいまって、非常に孤独な生活を送っている。働くことは出来ないが、生き延びるにはたくさんのお金が必要であり、貧困は日に日に高まってしまふ。現地で活動しているNGOが必死に取り組んでいるが、数に追いついていないのが現状のようだ。

彼らの家を訪ねた時、絶望に似た空気を感じた。それに触れても、何も出来ない自分の無力さに腹が立った。

概して、この町の大人達の間には、そんなあきらめのような雰囲気漂っている気がする。彼らの多くは働く場所がない。明日はどうやって生きるのか。未来が見えないということは、最大の問題なのかもしれない。

しかし、子供達は違った。彼らは、エネルギーに溢れている。どんな家の子供たちも一生懸命遊んで、夢中で勉強している。みんな将来の夢を持っていて、それに向かって邁進している。「学ぶ」ということが、こんなに希望を与えるものだとして驚くと同時に嬉しくなった。彼らはきつと夢を叶えると思う。彼らが大人になる頃には、この町も大きく変わりそうな予感を感じた。

一ヶ月はあっという間に過ぎてしまった。日が経つにつれ、人々の優しさやカンボジアのゆったりとした空気に触れることが出来て、楽しく生活することが出来た。そんなのどかさや現実のギャップはい



職業訓練センターは技術を学び、仕事を与えるだけでなく、夢を与える

つも私を不思議な気持ちにさせる。ただ、現在そこに問題があるのは忘れてはならない事実なのだ。それを知った今、過去には戻れないような義務感を強く感じている。「帰国して一言」セカンドハンドの支援は、カンボジアの人たちにとって、夢を与え、それを実現させる、という非常に大きな役割を果たしていると感じた。一方、まだまだ支援の及んでいない人々、AIDS患者、職のない人、子供を失った母親などが大勢いる。彼らに生きていく道、希望を持たせることは難しいかもしれないが、その需要は大きいと実感している。

カンボジアから帰って、違和感を感じるの、町並みの整然さや、喧騒の無さ。これだけ多くの人々が生活しているのに人がいる感じが全然しない。

カンボジアの熱さが懐かしい。

彼らが大人になる頃には、きつとこの町も変わる。



■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込みいただけます。  
E-mail:Jimukyoku2hand@yahoo.co.jp fax:087-861-9928

GOOD  
GOODS

## ミニぶた

ベストセラー商品「ミニ」シリーズの  
ひとつ。カンボジアの女性たちがひとつ  
ひとつ手作業で綿詰めしています。



マグカップは川口支部ボランティア  
スタッフ高倉さんの手づくり。お店  
にてご購入いただけます。

ミニぶたはセカンドハンドのオリジナルです。

(1090)¥450  
サイズ:7cm×3.5cm  
素材:シルク

カンボジア自立支援につながる  
フェアトレード商品です。

4ケタの商品番号で御注文下さい。色はお問い合わせ下さい。



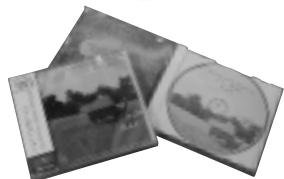
### 募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いてもOK!  
なお、募金箱は再利用してくださいね。

### チャリティーCD「少しだけ」 (全6曲) ¥1,500

セカンドハンドに出逢ってきた素  
敵なレオンさんのやさしさ溢れる唄  
声とメロディー。「今までより、少しだ  
け…頑張ってみようかな」という気持ち  
にさせてくれるCDです。

販売レコード店 タマル本店、エル、  
ゼルbyタマル高松店、タマル太田店、  
ゼルbyタマル丸亀店、VOICE、DUKE



郵送での購入をご希望の場合

郵便振替口座に「CD希望」「募金箱希望」など明記し、住所、氏名、希  
望の数を下記記入の上、商品代金に下記の送料を加えてご入金ください。  
送料:CD200円、募金箱160円

合計1万円以上お買上げの場合、送料無料

[郵便振替口座]

口座番号 01620-6-60029 加入者名 NPO法人セカンドハンド

SECOND  
HAND  
fair trade

## セカンドハンド運営委員をご紹介します

「スタッフの声が聞きたい!」という  
要望にお応えし、前号に続いて運営委員の  
「取組みたいこと」をテーマに、  
コメントをご紹介します。



鳥田



林



平野



深田



藤田



矢野



若宮

主婦。  
活動を支える皆さんに、より積極的・持続  
的な関わり方をしてもらえるよう環境整  
備や集客力のあるイベントの企画など、  
工夫したい。

会社員・川口支部。  
メールでのやりとりにもどかしさを感じ  
ながらも、少しでもお役に立てれば、そし  
て何より、何らかのかたちで関わってい  
ることに意義を見出しています。

翻訳家・セカンドハンド理事。  
微力ながら、自分にできる形でよりよい  
世界を作ることに関心したい。

ボランティアスタッフ。  
老若男女誰もが活動に関わることでき  
るセカンドハンドの存在をより多くの方  
に知って頂くこと。将来的にはカンボジ  
ア支援にとどまらず、より良い支援ので  
きる団体を目指したい。

中学校教諭。  
格差社会の中で不幸な思いをする人を  
一人でもなくそう、そのために自分が行  
動しようという積極的な気持ちをもった  
人材を育てること。支援者やスタッフの  
力はすごい!ということを実感してもらえ  
る活動を企画したい。

会社員。  
カンボジアという比較的近い国が対象で  
あり、強く惹かれました。福祉関連で働い  
ているので、カンボジアに行ったら、障害  
者等のことも考えてみたいと思っている。

大阪外国語大学4年。  
上っ面だけじゃない、ホントウの国際協力  
の姿を、セカンドハンドの活動を通して、  
同世代の若者たちに伝えていきたい。

## ポーンようこのみたカンボジア～実験準備室の掃除～

(ポーン:年上の女性を呼ぶ時の敬称ポーンスライを略した呼び方です)

ロククルー(男の先生)と実験準備室の大掃除をしました。  
ゴミだらけで土埃がひどいので、帽子・マスクは必需品。中に、  
いろんな国からの援助品である機械がたくさんありました。  
この学校の先生たちには使えず、梱包されたままほとんど壊

<プロフィール> 国際協力に関わりたくてOLから高校講師に転身し、  
セカンドハンドに参加。2005年7月から青年海外協力隊の理科教師  
としてカンボジア・タケオ州に赴任。高松出身。

れています。どのような経路で  
他国から物が供与されたか分か  
りませんが、この学校の先生が  
継続して使える物でなければゴミ  
になってしまいます。

セカンドハンドの提供品も同  
じですね。使える物、綺麗なも  
のでなければ、提供された側にと  
っては不用品になってしまいます。  
提供先のニーズを知ることが如  
何に大事か、実感しました。



梱包されたままの壊れた機械。まさに廃墟。

## SPECIAL THANKS 敬称略

【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、富井(満濃町)【出店協力】エースワンサポート高松店、【ニュースレター発送協力】平井小学校、三木中学校そ  
の他多くの方々【寄付】香川/市原吉博、稲井文正、入江治子、岡野一郎、加野芳正、兼光弘幸、久保智枝、桜町中学校、佐藤忠義、清水節子、小豆島高校、高畑貞江、高松東高校、  
(株)田中工務店、都村尚志、三原保、宮下裕、森田順子、安原智江、山下真理子、山田美智子、吉原、岐阜/岐阜高校家庭クラブ委員会、高知/久島茂子、埼玉/高倉恒三、三浦美保、  
東京/三略会(AsiaStep、アルティオーラシステム、コネクトテクノロジー、コーレル、ジェイエムシー、シュタールジャパン、新日本アーストアンドヤング、東京ドローイング、  
東洋触気功療術会、日本通信ネットワーク、日本DSPグループ、ノードソン、ネットワークサービスアンドテクノロジー、ネットワールド、ハーファタイム、阪神エアカーゴ、ふそう隆  
送、未悠征、リアライズ、リレコジャパン)、中西克江、徳島/饗場和彦、富山/荻浦いり弥、長野/北山直子、兵庫/平野貞子、奈良/玉置麗子、山口/高瀬裕彦、【その他】大山牧場、香  
川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、(株)生活空間、セカンドフット、天勝(丸亀)、錦郵便局、平井小学校、深沢幼稚園【印刷協力】アイニチ(株)【香川県協働事業協力】  
安藤、市太、奥村、小竹、里、四国ケーブル(株)、(財)四国民家博物館(四国村)、新名、ソバニ、戸田、チボリ栗林店、鳥田、新田、平田、平野、堀口、ユンデンプラザ・サンポート

☑ 42号のボンペンで使われているマートの記事では、本当に現地での様子がわかり、身近な問題として捉えることができました。

# 学生部「小指会」の活動報告

中学生～大学生の  
メンバーを募集中!

2005年3月にカンボジアを訪問し、高校建設支援を決定して7ヶ月。

建設費約300万円のうち、集まった高校建設資金は140万円。

「カンボジアの友達のために学校を建てたい」と、出店、募金、講演活動に励んでいます。

募金でのご協力をお願いします!

## 私たちが講師です!

### 【学校で】

「カンボジスタディーツアーの体験を1時間くらい話してほしんやけど」先生は私に言った。伝える場ができ、心が踊った。『百聞は一見にしかず』私は写真を見せながら、原稿無しでマイク片手に、10日間で感じた事を出来る限り皆にぶつけた。100人弱の生徒達は、私の体験、思いを熱い眼差しで、一生懸命聴いてくれた。私は、伝える事で1人でも多くの人がカンボジアと出会い、何かのきっかけが生まれるといいなと思った。

三木高校 生駒

### 【少年教育指導者セミナーで】

香川県内の少年教育関係者を対象に、小指会の2名が講師として招かれました。中学校建設への道程、スタディーツアーでの現地訪問、また活動を通して感じたこと等の話に熱心に耳を傾けてくれました。講演というかたちでの発表は初めてで緊張しましたが、同年代の人達の前で話すことができて良かったです。

高松第一高校 平野

## カンボジア料理に挑戦!



かがわ国際フェスタでバイナップルライスと緑豆ぜんざいを販売。大好評で売り切れました。

## 小指会メンバーが表彰されました!

国際ソロプチミスト  
アメリカ日本西リジョン大会  
(2005年4月)  
ヴァイオレット・リチャードソン賞  
<第三位> 平野礼以奈

ブルデンシャル生命 アワード  
ボランティア・スピリット・賞(2005年11月)  
<コミュニティ賞> 木田まりこ、平野礼以奈



表彰を通して知ってもらふ機会となったこと、自分たちとは違う形でボランティアをしている同年代の人達と活動について話せたことが刺激になりよかった。(平野)

## 高校建設へのご協力 ありがとうございます!



飯山高校ガレージセール



国際ソロプチミスト高松の  
チャリティ講演会

その他、小豆島高校、高松北高校家政部、  
平井小学校の皆さんからもご寄付いただきました。

## 大学祭に出店!

地元の大学生にセカンドハンドの知ってもらふ機会として、11月の香川大学祭に出店しました。大学祭実行委員の多大なる協力を得てフェアトレード商品を販売したものの、ボランティア獲得には至らず(涙)。香大の学生さんたちのボランティア参加を待っています!

自ら企画して学祭でセカンドハンドの商品を販売した徳島大学、高松大学の皆さんも、ありがとう!

## 大山牧場祭(さぬき市)& 三宅産業秋の総合展示会 (観音寺市)に出店

イベント時にバザー場所を提供してくれました。三宅さんは会場で在庫品のチャリティー販売による寄付を、大山さんはこんなスピーチしてくれました。「日本国内にも困っている人たちは沢山います。でも、困っているレベルが違う。学校に行けない人、ご飯が食べられない人がいるカンボジアに支援しているセカンドハンドに協力したい」参加者に向けて熱く語った大山さんにスタッフ一同大変勇気づけられました。

## 福岡店

住宅街にある福岡店。集客を目的にイベントを募集し会場を貸出中。10月に3回目となる古布展を開催し、部屋に人が入りきらないくらい盛況ぶりでした。イベントを募集中!

SECOND  
HAND

## 品物提供の受付

1/14より再開します!

大変ご不便をおかけしました。

春物 1/14~4/30  
食器、日用品など季節の  
ないものは常時OK

持ち込み:店舗  
送付:田村町倉庫

(〒761-8057  
高松市田村町201-1)

月・水・金の曜日指定で  
お願いします

## ボランティア スタッフ募集

お店番  
レジや店内作業など

運搬 特に不足しています!  
荷物の運搬、車の運転など

倉庫作業  
仕分作業

## ニュースレター発送作業

今回は4/23(日)です。

簡単な作業ですが、多くの人手が必要です。  
ぜひ手伝って下さい!!

# information

## 倉庫オープン記念 チャリティーバザー

1/14(土)~16(月)  
(10:00~18:00)

田村町倉庫にて

冬物衣類、食器、雑貨など  
多数出店

## 結婚式参列ツアー

職業訓練センターで働くテリ-(12  
月に来日)の結婚式に参列を目的に、  
支援先、アンコールワットの見学も  
予定しています。

日程:3/23~4/1

(1日前後する可能性有)

費用:15万円(SOS会員は2割引)

締切:1/20まで

## SOS会員募集!

セカンドハンドの  
運営サポーター制度です。  
詳しくはp3参照。

## 寄付・募金いつでも 受付けています!

郵便振替口座

01620-6-60029

NPO法人セカンドハンド

百十四銀行

田町支店 普通 0833370

特定非営利活動法人

セカンドハンド

理事 新田恭子(ニッタヤスコ)

## セカンドハンド通信を ネットでGET!

ホームページからダウンロード  
可能な方、郵送は必要ないと  
いう方はメールでご一報ください。  
発行のお知らせをいたします。

## 集めてます!

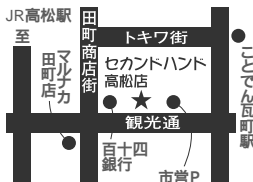
- ・書き損じハガキ  
(未投函の官製ハガキ)
- ・使用済み切手

周囲を5mm程度残して切るなどの  
注意点があります。  
詳しくはお問合せ下さい。

収支報告書は毎月セカンドハンド店頭で掲示しています。

### 高松店

セカンドハンド本部 1F  
高松店 3F  
〒760-0055  
高松市観光通1-1-18  
TEL: 087-861-9928  
営業時間:  
10:00~19:00



### 福岡店

セカンドハンド福岡店  
〒814-0131

福岡市城南區松山2-7-15  
TEL&FAX: 092-871-5760

(E-mail) spica45970@s7.dion.ne.jp

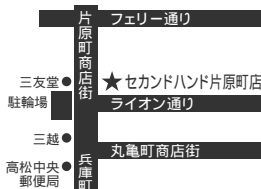
営業時間: 月・木 11:00~15:00

1月は12日(木)から営業



### 片原町店

セカンドハンド片原町店  
〒760-0040  
高松市片原町9-1  
TEL: 087-822-3552  
営業時間:  
10:00~19:00



### 支部

セカンドハンド川口支部

責任者 早船 TEL&FAX: 048-294-1576

(E-mail) n-hayafune522@kdk.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.i-staff.co.jp/2nd-hand/>  
セカンドハンド大阪支部

徳 090-6241-3768

(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

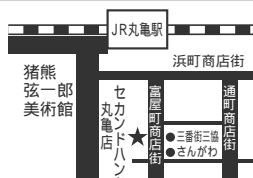
セカンドハンド北海道支部

大波 Tel:090-2695-9390 Fax:011-785-2311

(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

### 丸亀店

セカンドハンド丸亀店  
〒763-0021  
丸亀市富屋町30-1  
TEL: 0877-25-2876  
営業時間:  
火・水 11:00~13:00  
木 11:00~16:00



ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です

このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。  
封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4300部を全  
国の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、  
FAX メールなどでお申し込み下さい。